

# 世 界 史

## 注 意

1. 問題は全部で14ページである。
2. 解答用紙は(その1)(その2)がある。(その1)はマーク・シートになっている。
3. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている)。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
6. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

### マーク・シート記入上の注意

1. HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

〔I〕 次の文章を読んで空欄(ア)～(ソ)に該当する語句を記入しなさい。解答用紙は(その2)を使用すること。

1. クレタ文明は同名の島、とくにギリシア神話において迷宮として語り続けられた宮殿の所在地(ア)を中心に紀元前2000年頃から前1400年頃まで、海上貿易を通じて栄えた青銅器文明である。神話における伝説上の王の名にちなんだ(イ)文明という名でも知られている。
2. この宮殿を筆頭とする遺跡は(ウ)によって発掘されたが、民族の系統は明らかになっておらず、彼らが絵文字とともに用いた(エ)は今日なお解読されていない。
3. クレタ文明の壁画や壺絵は写実性に富んでおり、前12世紀頃鉄器とともにバルカン半島に南下し以後のギリシア文化形成の主役となった(オ)人の初期の幾何学的美術とは大きく異なっている。
4. シチリア島には紀元前8世紀頃からギリシアの植民市が相次いで建設され、広義のギリシア文化の一翼を担っていた。自然哲学者のエンペドクレスや「浮力の原理」の発見で知られる数学者・物理学者の(カ)はこの島の出身である。
5. 穀物の豊かな生産地と知られたこの島をめぐるには多くの勢力が覇権を争った。カルタゴとローマの間で繰り広げられた(キ)戦争は、この島の内紛が原因となって勃発した。
6. 13世紀前半にシチリア王位を兼務していた神聖ローマ皇帝(ク)は、十字軍の武力によらず外交交渉によるエルサレムの回復に成功した。
7. 1282年の「シチリアの晩禱(晩鐘)」によってシチリア島を追われた、アンジュー家のカルロ1世は半島に(ケ)王国を建設して南イタリア支配の拠点をこちらに移した。
8. 1943年7月、連合軍はイタリア半島侵入に先だってシチリア島への上陸作戦を敢行した。イタリアの首相だった(コ)が失脚して逮捕されたのは同月中の出来事である。

9. サルデーニャ島は13世紀末から15世紀後半まで、断絶した時期を含むものの、イベリア半島北東部を中核とする( サ )王国に領有されており、その後はスペインに支配権が移った。
10. サルデーニャ島は、スペイン継承戦争を終結させた( シ )条約によってオーストリアに領有権が移ったのち、1720年に( ス )家が北イタリアの一部を合併するかたちでサルデーニャ王国として独立を達成した。
11. サルデーニャ王国は1848年革命に際してオーストリアに宣戦したが敗北し、国王は生前譲位を余儀なくされる。父の後を継いだ新国王( セ )は、強国化を推進し、1861年、イタリア統一に成功した。イタリア王国の最初の首都とされたのは、1720年の独立以来一貫してサルデーニャ王国の首都だった( ソ )である。

〔Ⅱ〕 アメリカ大陸の歴史に関する(1)～(3)の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。解答用紙は(その1)を使用すること。

(1) アメリカ大陸にモンゴロイド系と思われる人々が渡ってきたのは、今から1万年以上前、( A )海峡がアジアと地続きだった氷期のことと考えられている。彼らは北から南へと移動し、大陸の各地でそれぞれの環境に適応した文化を發展させた。メソアメリカと南アメリカのアンデス地帯では、紀元前2千年紀頃から農耕文化が発達し、やがて高度な文明<sup>(a)</sup>が成立した。15世紀に始まる大航海時代には、ヨーロッパ人が南北アメリカ大陸に進出してきたが、アジアへの進出でおくれをとったスペインは、ポルトガルとの間で1494年にトルデシヤス条約を結び、( B )を除く南アメリカの大部分を領土とした。( C )制が導入されたスペインの植民地では、先住民の保護とキリスト教化を条件に、先住民とその土地に対する支配がスペイン人植民者に委託された。

問1 空欄( A )に入る語として正しいものを、下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。  1

- ① マゼラン      ② ウルップ      ③ ベーリング      ④ タタール

問2 下線部(a)にあるメソアメリカ・南アメリカの文明についての記述として正しくないものはどれか。下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。  2

- ① オルメカ文明は、巨石人頭像を残し、ジャガーを崇拝していた。  
② マヤ文明では、縄の色や結び方で情報を伝えるキープを使用していた。  
③ アステカ王国は、1521年にコルテスに征服された。  
④ アンデス地帯で栄えたインカ帝国は、1533年にピサロに滅ぼされた。

問 3 空欄( B )に入る語として正しいものを、下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。 3

- |          |        |
|----------|--------|
| ① アルゼンチン | ② ペルー  |
| ③ チリ     | ④ ブラジル |

問 4 空欄( C )に入る語として正しいものを、下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。 4

- |            |           |
|------------|-----------|
| ① ラティフンディア | ② エンコミエンダ |
| ③ コンキスタドール | ④ 屯田兵     |

(2) 北アメリカでの植民地建設が本格化したのは、17世紀のことである。イギリスは、17世紀から東海岸部に植民地を建設した。<sup>(b)</sup>17世紀半ば以降、イギリスの他にもヨーロッパ諸国の北アメリカへの入植や領地拡大が行われ、イギリスとフランスとの間ではフレンチ・インディアン戦争が起こった。この後、イギリスは植民地での課税を強化するなど本国の利益を守るため、様々な法律を制定した。これに対して植民地側は反発し、ボストン茶会事件に対して本国政府がボストン港を閉鎖するなど、対立が明確になった。1770年代には独立戦争が始まり、独立宣言が発せられた。独立軍は当初苦戦していたが、イギリスと対立していた国々が参戦したのに加え、武装中立国が同盟を結成し<sup>(a)</sup>イギリスは外交的に孤立した。イギリスは1783年のパリ条約でアメリカ合衆国の独立を承認した。1787年には合衆国憲法草案が発表され、1788年に発効した。<sup>(g)</sup>  
<sup>(h)</sup>

問 5 下線部(b)にある 17 世紀の北アメリカにおける各国の植民・領有についての記述として正しくないものはどれか。下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。 5

- ① 17 世紀前半にオランダ西インド会社がハドソン川河口に植民地を建設した。
- ② 北アメリカに進出したフランスは、ケベックを中心にカナダを支配した。
- ③ 南から支配地域を広げてきたスペインは、現在のアメリカ合衆国のロッキー山脈から西海岸に至る広大な地域を領有した。
- ④ イギリスからは、ジェームズ 1 世の弾圧から逃れたピューリタンらが移住し植民地が築かれた。

問 6 下線部(c)にあるイギリスの植民地についての記述として下線部が正しくないものはどれか。下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。 6

- ① ジェームズタウンを起源とする北アメリカ最初のイギリス植民地であるヴァージニアは、タバコ栽培などで発展した。
- ② マサチューセッツでは、ボストン茶会事件ののち、独立戦争の発端となったレキシントンとコンコードでの戦いが起こった。
- ③ ペンシルヴェニアの中心であるフィラデルフィアは、大陸会議の開催、独立宣言や合衆国憲法の起草など、独立革命の中で重要な位置を占めた。
- ④ 最も遅く 13 植民地に加わったジョージアでは、アトランタを中心に、植民開始直後から大規模な綿花プランテーションが展開された。

問 7 下線部(d)にあるフレンチ・インディアン戦争に関する記述として正しいものはどれか。下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。 7

- ① 七年戦争と同じ 1756 年に始まり、1763 年のパリ条約締結によって終わった。
- ② イギリスは、アメリカ先住民諸部族と同盟を結び、フランスと戦った。
- ③ スペインは、ニューオリンズとミシシッピ川以西の領地をイギリスに譲った。
- ④ イギリスは、ニューオリンズを除くミシシッピ川以東のフランスの領地を手に入れた。

問 8 下線部(e)にある法律に含まれていないものはどれか。下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。 8

- ① 砂糖法                      ② 印紙法                      ③ 茶法                      ④ 禁酒法

問 9 下線部(f)にある独立宣言についての記述として正しいものはどれか。下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。 9

- ① 1776 年 7 月 6 日に第 1 回大陸会議で採択された。
- ② トマス・ペインが中心となって起草した。
- ③ イギリスのジョージ 3 世による暴政を弾劾した。
- ④ 奴隷制を批判する内容が含まれていた。

問10 下線部(a)にあるイギリスと対立していた国々と下線部(i)にある武装中立国のそれぞれに含まれる国の組み合わせとして正しいものはどれか。下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。 10

- ① (a) フランス                      (i) ロシア
- ② (a) スペイン                      (i) フランス
- ③ (a) ロシア                      (i) デンマーク
- ④ (a) スウェーデン                      (i) スペイン

問11 下線部(g)にあるパリ条約の内容として正しいものはどれか。下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。 **11**

- ① フランスとイギリスの間で交わされた条約である。
- ② 13 植民地の中にはアメリカ合衆国に含まれなかったところがある。
- ③ イギリスはアメリカ合衆国にミシシッピ川以東の地を与えた。
- ④ アメリカ合衆国に対して憲法制定を求めた。

問12 下線部(h)にある合衆国憲法についての記述として正しいものはどれか。下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。 **12**

- ① 合衆国憲法は、全ての州が批准することにより発効した。
- ② 各州に大幅な自治を認めつつ、中央政府の権限を強化する連邦主義を採用している。
- ③ 大統領が行政・立法・司法のすべてを率いる最高責任をもっている。
- ④ 合衆国憲法は、その後修正は加えられず現在でもそのまま変わっていない。

(3) 19世紀には、ラテンアメリカで多くの国が独立した。1804年には、はじめての黒人共和国として( D )が誕生した。1810年代以降、ラテンアメリカ諸国では、植民地生まれの白人である( E )の大地主層が独立運動の中心となった。アメリカ合衆国第5代大統領( F )は、ラテンアメリカ諸国の独立を支持するため、ヨーロッパ諸国とアメリカとの相互不干渉を表明する( F )教書を1823年に発表した。

問13 空欄( D )に入る国名として正しいものを、下記の選択肢から一つ選んで番号をマークしなさい。 **13**

- ① ニカラグア
- ② ホンジュラス
- ③ グアテマラ
- ④ ハイチ



問14 空欄( E )に入る語として正しいものを、下記の選択肢から一つ選んで  
番号をマークしなさい。 14

- |          |        |
|----------|--------|
| ① クリオーリョ | ② ピジン  |
| ③ メステイーン | ④ ムラート |

問15 空欄( F )に入る人名として正しいものを、下記の選択肢から一つ選ん  
で番号をマークしなさい。 15

- |          |         |
|----------|---------|
| ① フランクリン | ② マディソン |
| ③ モンロー   | ④ ハミルトン |

〔Ⅲ〕 19世紀のアジア・アフリカ地域における民族運動に関する次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。解答用紙は(その1)を使用すること。

19世紀のアジア・アフリカ地域では、広域での民族的連帯を訴える主張が民族運動や政治状況に影響を与えた。アフリカでは、20世紀後半におけるアフリカ諸地域の独立運動につながるパン・アフリカニズムの運動が、19世紀末に開始された。ロシア帝国支配下の中央アジアでは、テュルク系民族の連帯によってロシア帝国に抵抗しようとする思想が芽生えた。この思想は、一部のタタール人がオスマン帝国に亡命したことによってオスマン帝国内のトルコ民族主義と合流し、汎トルコ主義に発展した。

このような潮流の中で、(ア)が説いた思想は、とりわけ広範な地域で影響を持ったものである。イランで生まれた(ア)は、イギリス支配下のインドを訪れて西欧列強の植民地主義の脅威を実感し、イスラームの改革と反帝国主義を唱える運動家となった。1860年代後半にはアフガニスタンで活動し、オスマン帝国への滞在を経て、1870年代はカイロに移住してエジプトの民族運動の思想的基盤を作った。1880年代前半にはヨーロッパに滞在し、パリで発行したアラビア語雑誌『固き絆』はアフリカから東南アジアにまで流通した。1890年にカージャー朝下のイランから国外追放された後は、パン・イスラーム主義を掲げたアブデュルハミト2世に招かれてオスマン帝国に滞在したが、宮廷内部で孤立し、幽閉されて死亡した。彼の改革思想は、帝国主義に対抗する連帯構築のためにイスラームという宗教のつながりを重視すると同時に、ムスリムのみではない被抑圧人民の連帯という発想にも至っていたとされる。

問1 (ア)に入る人名として正しいものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 16

- |              |           |
|--------------|-----------|
| ① アフガーニー     | ② チョイバルサン |
| ③ ファン・ボイ・チャウ | ④ ガザーリー   |

問 2 下線部①の時代の文化について述べた文としてもっとも適切なものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 17

- ① 魯迅が『阿Q正伝』を著した。
- ② タゴールが、アジア初のノーベル文学賞を受賞した。
- ③ 岡倉天心がフェノロサに師事した。
- ④ ピカソが「ゲルニカ」を描いた。

問 3 下線部②に関連して、19世紀にヨーロッパで広がった、広域での民族連帯を訴える主張について述べた文として適切ではないものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 18

- ① パン・スラヴ主義は、オーストリア帝国からの独立を目指した。
- ② パン・スラヴ主義を利用したロシアが、オーストリア帝国と対立した。
- ③ パン・ゲルマン主義は、ヴィルヘルム2世時代に広がった。
- ④ パン・ゲルマン主義は、全ドイツ系民族の連帯をとらえた。

問 4 下線部③の時期に独立したアフリカの国として適切ではないものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 19

- ① ニジェール      ② リビア      ③ ソマリア      ④ エチオピア

問 5 下線部④の運動に取り組んだ黒人解放運動家デュボイスの出身国としてもっとも適切なものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 20

- ① リベリア      ② アメリカ      ③ フランス      ④ 南アフリカ

問 6 下線部⑤に関連して、ロシア帝国に併合された中央アジアの国としてもっとも適切なものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 21

- ① 西チャガタイ・ハン国      ② ノヴゴロド国
- ③ イル・ハン国      ④ コーカンド・ハン国

問 7 下線部⑤に関連して、19世紀末に、ロシア帝国に対する蜂起が起こった中央アジアの地名としてもっとも適切なものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 22

- ① アンボイナ
- ② カシュガル
- ③ アンディジャン
- ④ アムリットサル

問 8 下線部⑥が19世紀にロシアと結んだ条約としてもっとも適切なものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 23

- ① カルロヴィッツ条約
- ② サン・ステファノ条約
- ③ キャフタ条約
- ④ トリアノン条約

問 9 下線部⑦に関連して、インド帝国の成立までに起こった以下の出来事ア～ウを古い方から年代順に並べ替えた順番として正しいものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 24

ア イギリスがシク戦争に勝利した。

イ イギリスがカーナティック戦争に勝利した。

ウ シパーヒーの反乱が起こった。

- ① ア→イ→ウ
- ② ア→ウ→イ
- ③ イ→ア→ウ
- ④ イ→ウ→ア
- ⑤ ウ→ア→イ
- ⑥ ウ→イ→ア

問10 下線部⑧に関連して、18世紀半ばのアラビア半島でイスラーム改革を唱えた運動としてもっとも適切なものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 25

- ① タンジマート
- ② ワッハーブ派
- ③ ムスリム同胞団
- ④ ドンズー運動

問11 問10の運動について述べた文としてもっとも適切なものをひとつ選び、

その番号をマークしなさい。 26

- ① 日本に多くの留学生を送った。
- ② サウード家と対立した。
- ③ 神秘主義や聖者崇拜を肯定した。
- ④ サウジアラビア王国をたてた。

問12 下線部⑨の前後に起こった以下の出来事ア～ウを古い方から年代順に並べ替えた順番として正しいものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。

27

ア ワフド党が独立運動を展開した。

イ イギリスがエジプトを保護国化した。

ウ スエズ運河が完成した。

- ① ア→イ→ウ                      ② ア→ウ→イ                      ③ イ→ア→ウ
- ④ イ→ウ→ア                      ⑤ ウ→ア→イ                      ⑥ ウ→イ→ア

問13 下線部⑩に関連して、19世紀に東南アジアで起こった出来事として適切ではないものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 28

- ① インドネシアでサレカット・イスラームが生まれた。
- ② マレー連合州が成立した。
- ③ フランス領インドシナ連邦が成立した。
- ④ ビルマがインド帝国に併合された。

問14 下線部⑩に関連して、東南アジアの民族運動を担った団体とその中心人物の組み合わせとして正しいものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。

29

- |             |         |
|-------------|---------|
| ① タキン党      | スカルノ    |
| ② タキン党      | ホー・チ・ミン |
| ③ インドネシア国民党 | スカルノ    |
| ④ インドネシア国民党 | ホー・チ・ミン |

問15 下線部⑪とトルコマンチャーイ条約を結んだ国としてもっとも適切なものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 30

- |          |        |
|----------|--------|
| ① イギリス   | ② フランス |
| ③ オーストリア | ④ ロシア  |

問16 下線部⑫の時代に起こった以下の出来事ア～ウを古い方から年代順に並べ替えた順番として正しいものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。

31

ア イラン立憲革命が起こった。

イ バーブ教徒の乱が起こった。

ウ レザー・ハーンがクーデターを起こした。

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| ① ア→イ→ウ | ② ア→ウ→イ | ③ イ→ア→ウ |
| ④ イ→ウ→ア | ⑤ ウ→ア→イ | ⑥ ウ→イ→ア |

問17 下線部⑬の人物について述べた文としてもっとも適切なものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 32

- ① ギュルハネ勅令を発した。
- ② ローザンヌ条約を結んだ。
- ③ ミドハト・パシャを宰相にした。
- ④ ムハンマド・アリーと対立した。

問18 下線部⑫の時代とその後が起こった以下の出来事ア～ウを古い方から年代順に並べ替えた順番として正しいものをひとつ選び、その番号をマークしなさい。 33

ア 青年トルコ革命が起こった。

イ トルコ共和国が成立した。

ウ セーヴル条約が結ばれた。

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| ① ア→イ→ウ | ② ア→ウ→イ | ③ イ→ア→ウ |
| ④ イ→ウ→ア | ⑤ ウ→ア→イ | ⑥ ウ→イ→ア |